

県展知事賞の 油彩画を寄贈

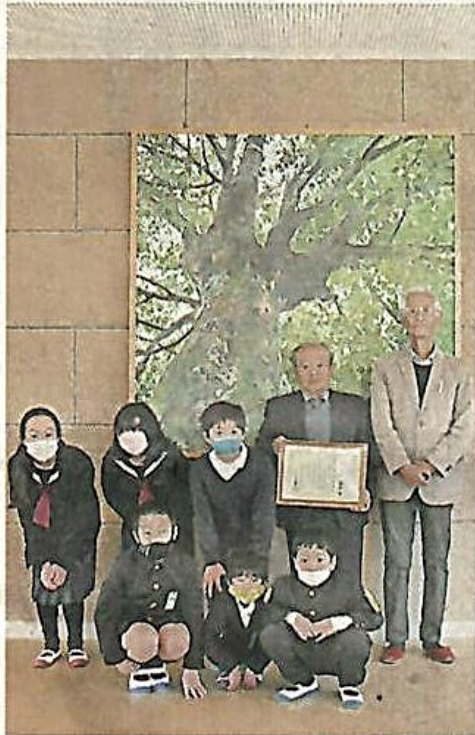
鶴尾小にOB

高松市の鶴尾小学校の卒業生が、同校に自身が手がけた油彩画を寄贈した。2018年の県美術展覧会（県展）洋画部門で知事賞に輝いた作品で、学校の「顔」となる玄関ロビーに飾られた。

寄贈したのは同校区の住民で、1958年度卒業生

の町川邦彦さん（76）＝同市西ハゼ町＝。67歳で退職してから絵画を習い始め、2016年の県展初出品から3回目の挑戦で知事賞を射止めた。

受賞作「風」は、茨城県



母校に県展の知事賞
受賞作品「風」を寄贈
した町川さん（後列
右から2人目）＝高
松市松並町、鶴尾小

の古い酒蔵にあるカシの大木をモチーフにした縦横約1・6坪の油彩画。天高く枝を伸ばす古木を下から見上げ、ごつごつとした木肌や青々とした葉の間から差し込む陽光などを巧みに表

現している。

10日に同校であった除幕式では、町川さんは作品が完成するのに4カ月余りかかったことなど説明し、「体力的に頑張っただけでやらないとできなかった。皆さんも何事もあきらめず、どこまでも前に向かって進んで」と子どもらにエール。児童を代表し、6年の宇根谷光姫さん（12）が「絵からパワーをもらい、学校生活をより楽しいものにしていきたい」とお礼の言葉を述べた。